

経済学部 1 回生対象

BKC副専攻

〔外国語コミュニケーションコース(初修外国語)〕

2018年度生 募集要項

2017年 11月

立命館大学 言語教育センター

言語教育センター「BKC副専攻」のホームページ ⇒
<http://www.ritsumei.ac.jp/gengo/seika-manabi/minor.html/>



目 次

1. BKC 副専攻とは	1
2. 募集日程	1
3. 募集・選考について	1
4. 受講登録について	1
5. コース修了に要する単位数とその取り扱い	2
6. 履修上の注意点	2
7. 各コースの紹介		
○ ドイツ語コミュニケーションコース	3
○ フランス語コミュニケーションコース	5
○ 中国語コミュニケーションコース	7
○ スペイン語コミュニケーションコース	9
○ 朝鮮語コミュニケーションコース	11

1. BKC副専攻とは

BKC副専攻は、必修外国語の履修などでこれまでに培った外国語能力をベースに、より一層高い運用能力とその外国語学習を通じて幅広い教養を身につけることを目的として、ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・朝鮮語の各コミュニケーションコースを開設しています。コースごとに開講される副専攻科目から、必要な科目を選択して履修します。今回は、次年度の春学期から始まる初修外国語の各コミュニケーションコースの募集を行いません。

2. 募集日程

内容	日程	日時・場所	
募集ガイダンス	10月23日(月) 12:15~12:55	中国語	CLA 2教室
	10月24日(火) 12:15~12:55	朝鮮語	CLA 2教室
	10月26日(木) 12:15~12:55	ドイツ語	CLA 1教室
		スペイン語	CLA 2教室
	10月27日(金) 12:15~12:55	フランス語	CLA 2教室
「登録用紙」提出	11月6日(月)~11月17日(金) ※ 窓口時間:10:00~17:00	言語教育センター(BKC) 窓口 アクロスウイング 1階	
受講許可者発表	11月28日(火) 10:00~	言語教育センター 掲示板 & 言語教育センターHP	
受講本登録	2018年4月	必ず各自で受講本登録を行ってください。	

※ 言語教育センター窓口は、土・日・祝日(土・祝日に行われる授業日・補講日含む)は閉室しています。

3. 募集・選考について

- (1) 今回募集対象となるのは、経済学部 1 回生の学生です。
- (2) 副専攻の履修は「申込→許可制」となっており、1コースのみ選択可能です。
- (3) 各コースとも定員は35名となっています。
- (4) 応募者が定員を超えた場合には、「登録用紙」により選考を行います。
- (5) 留学生が履修を希望する場合、母国語のコースの受講はできません。

4. 受講登録について

- (1) 受講許可者発表は、11月28日(火) 10:00に行いませんので、必ず確認のうえ、許可された学生は、4月上旬の「春学期受講本登録期間」において、各自で CAMPUS WEB 上において副専攻科目を登録してください。
- (2) 副専攻の時間割は、2018年3月末に言語教育センターHPにアップされます。

5. コース修了に要する単位数とその取り扱い

副専攻プログラムでは、「SP1」(8単位)および「SP2」(6単位)のパッケージが開講されており、卒業時まで「SP1」パッケージ科目を8単位修得した学生は、「副専攻(SP1)」修了者として、また「SP1」パッケージ科目の8単位に加え、「SP2」科目のうちの6単位を修得すれば、「副専攻(SP2)修了者」として認定します。

選択した副専攻コースに設置されている科目から以下に掲げる所定の単位以上を修得した場合に限り、卒業に必要な単位として認定されます。外国語副専攻の修得単位は、18単位を上限に教養科目として算入されます。

やむを得ず途中で断念した場合、または所定の単位を下回って修得した場合には、卒業に必要な単位として算入されません。

※外国語副専攻科目の単位数は学部で定められている「年間受講登録制限単位数」に含まれます。

科目名	パッケージ (単位)	卒業に必要な単位として認定する単位数	
〇〇語で読み解く社会と文化 A	SP1 (各 2 単位)	「副専攻(SP1)」修了者 <u>8 単位以上</u>	「副専攻(SP2)」修了者 <u>14 単位以上</u> SP1 から 8 単位以上、 および SP2 から 6 単位 以上を修得した場合。
〇〇語で伝え理解する生活世界 A			
〇〇語で読み解く社会と文化 B			
〇〇語で伝え理解する生活世界 B			
異文化理解セミナー			
〇〇語で議論する社会事象 A	SP2 (各 2 単位)	—	
〇〇語で読み解く世界と経済 A			
〇〇語で議論する社会事象 B			
〇〇語で読み解く世界と経済 B			

6. 履修上の注意点

- (1) 副専攻科目の配当年次は、「1 年次」= 2 回生、「2 年次」= 3 回生と理解してください。
- (2) 副専攻の履修は、SP1 から SP2 への段階的履修を原則としますが、SP1 未修了の場合でも SP2 への登録は可能です。ただし、SP2 修了に必要な科目を履修し終えたとしても、SP1 が未修了のままであれば、「副専攻」修了の認定はできません。
- (3) 副専攻の再履修クラスはありません。単位を修得できなかった場合は、翌年度に同一科目または未履修の科目を受講してください。
- (4) 海外留学(協定・個別合意)および異文化理解セミナーで修得した単位を、帰国後の申請により副専攻の単位(12 単位上限・異文化理解セミナーは 2 単位)として読み替えることができます。申請は海外留学(協定・個別合意)からの帰国後直ちに経済学部事務室で行なってください。
※一度確定した単位を遡及して「読み替え申請」をすることはできません。
- (5) 副専攻科目については、配当セメスターが指定されています(「7.各コースの紹介」の科目編成参照)。基本的にはこの配当セメスターでの受講を推奨しますが、海外留学や専門科目の履修との関係で配当回生での履修ができない場合は、配当セメスター以降の受講可能なセメスターで受講してください。
- (6) 受講申込後やむを得ず途中で副専攻の履修を辞退する場合は、「副専攻辞退願」を言語教育センター(アクロスウイング1F)に提出してください。

7. 各コースの紹介

【ドイツ語コミュニケーションコース】 1年次定員 35名

◆ コースの位置づけ

ドイツ語の学習を通じて、現代のドイツ語圏の文化や社会、生活世界や経済を理解すると同時に、そうした国々の人々との交流に必要な高度なドイツ語表現能力や理解力の養成を目的としています。併せて、多文化・多言語社会への視野を広め、理解を深めつつ、21世紀に生きる国際人の養成を目指します。目標をさらに具体的に設定すれば、1年次で「ドイツ語検定試験」4級から3級程度、2年次で3級から2級程度を目指した学習を行います。上記目的達成のために、異文化理解セミナー参加を大いに奨励します。また、副専攻受講者より、短期留学や長期留学の留学生が出ることを期待しています。

◆ 科目編成

科目名	単位数	パッケージ	配当年次(回生)	セメスター
ドイツ語で読み解く社会と文化 A	2	SP1	1年次(2回生)	3
ドイツ語で伝え理解する生活世界 A	2	SP1	1年次(2回生)	3
ドイツ語で読み解く社会と文化 B	2	SP1	1年次(2回生)	4
ドイツ語で伝え理解する生活世界 B	2	SP1	1年次(2回生)	4
ドイツ語で議論する社会事象 A	2	SP2	2年次(3回生)	5
ドイツ語で読み解く世界と経済 A	2	SP2	2年次(3回生)	5
ドイツ語で議論する社会事象 B	2	SP2	2年次(3回生)	6
ドイツ語で読み解く世界と経済 B	2	SP2	2年次(3回生)	6
異文化理解セミナー	2	—	単位認定	

◆ 科目概要

◇ ドイツ語で読み解く社会と文化 A

「ドイツ語・基礎」や「ドイツ語・展開」で身につけた能力を基礎にして、この授業では特にドイツ語を「聞く」・「読む」能力の向上を図ります。ドイツ語圏で起きた出来事の中から幾つかのトピックスを選び、テレビニュースなどを見ながら最近のドイツ語圏の文化や社会の状況を学んでいきます。また、ドイツの社会と文化をテーマにしたテキストを読みます。具体的には、ドイツの新聞や雑誌、インターネットなどに掲載されたトピックな話題を随時紹介していきます。

◇ ドイツ語で伝え理解する生活世界 A

「ドイツ語・基礎」や「ドイツ語・展開」で身につけた能力を基礎にして、この授業では特にドイツ語を「話す」・「書く」能力の向上を目指します。現代ドイツ語圏の生活世界における諸問題を深く理解し、どのようなやり取りや文章表現を通じてそれを解決できるかを学びます。例えば、日常生活の様々な状況に対応できるような有用な言い回しを身につけます。以上のことに加えて、手紙の書き方なども練習します。

◇ ドイツ語で読み解く社会と文化 B

「ドイツ語で読み解く社会と文化 A」で扱った内容からさらに進展します。現代のドイツ語圏の社会と文化を理解するために、より高いレベルのドイツ語のテキストや映像などを取り上げます。この科目を通じ、引き続き「聞く」・「読む」能力を高めていきます。また、現代のドイツ語圏の社会と文化への関心を深めつつ、現代日本と比較する視点を養うことも、この授業の目的のひとつです。

◇ ドイツ語で伝え理解する生活世界 B

この授業では「ドイツ語で伝え理解する生活世界 A」で扱った内容を深めていきます。そして、ドイツ語を「話す」・「書く」能力のさらなる向上を目指します。ドイツ語圏の生活世界に身を置く場合に必要になる表現を身につけ、これまで習得した「話す」・「書く」能力を人々との繋がりや助け合いの場で発揮できるような練習をします。少々複雑な内容の文章をドイツ語で書いたり、話したりできるようになることを目指します。また、スピーチによって自分の考えなどを表現することにも挑戦します。

◇ ドイツ語で議論する社会事象 A

この授業では「ドイツ語で伝え理解する生活世界 A・B」で焦点を当てたドイツ語を「話す」・「書く」能力をさらに高めます。広く社会の様々な事象を取り上げ、その事象と生活との相関関係について、自分の見解や認識をなるべく具体的に表現できるようになることを目指します。ドイツ語で議論したり、スピーチしたりする練習のほか、作文を書けるように指導します。

◇ ドイツ語で読み解く世界と経済 A

「ドイツ語で読み解く社会と文化 A・B」で身につけたドイツ語を「聞く」・「読む」能力をさらに高めます。幅広く世界や経済といった領域で流通するテキストや映像などを取り上げます。その内容を理解し、そこで扱われている問題について熟考して、ドイツ語を母語とする人と、世界や経済に関する、あらゆるテーマについてディスカッションができるようなドイツ語圏社会と文化への深い理解を目指します。

◇ ドイツ語で議論する社会事象 B

「ドイツ語で議論する社会事象 A」で扱った内容をさらに深化させます。ドイツ語を「話す」・「書く」能力をより一層磨き、豊かな表現で様々な社会事象について自分の見解や認識を詳しく伝える能力の向上を図ります。異文化交流の場面では、微妙な表現のずれが深刻な誤解を招くケースがあり、それを避けるために日本語とドイツ語の表現方法の違いやドイツ語表現の微妙なニュアンスについても学びます。社会事象をめぐる議論や異文化交流において、よりの確に表現できる語学力の養成を目指します。

◇ ドイツ語で読み解く世界と経済 B

「ドイツ語で読み解く世界と経済 A」で身につけた、「聞く」・「読む」語学力をさらに高めていきます。そのため、この授業で扱う世界と経済に関わるテキストや映像は、さらに高度なものとなります。ドイツ語圏のメディアを通して、世界と経済のあらゆる事象に視野を広げていきます。必然的に、この授業ではより専門的な語彙やよりの確な表現も学んでいくことになります。さらに、学んだ事象についてドイツ語で自分の考えを発表したり討論したりします。この授業では、以上のように実践的な運用力を目指します。

【 フランス語コミュニケーションコース 】 1年次定員 35名

◆ コースの位置づけ

基本的な目標は、国際化の時代において求められるフランス語能力を身につけ、将来の実務や生活に活かすことです。やや高度な言語素材も教材として扱い、国際人として求められるフランス語圏の社会や文化の理解にもつとめます。目標をさらに具体的に設定すれば、SP1 で仏検3級程度、SP2 で準2級から2級程度の能力までの到達をめざします。衣笠キャンパスの副専攻コースと合同での「フランス語暗唱コンクール」が毎年開催され、両キャンパスの副専攻受講学生間の親睦もはかられています。

◆ 科目編成

科目名	単位数	パッケージ	配当年次(回生)	セメスター
フランス語で読み解く社会と文化 A	2	SP1	1年次(2回生)	3
フランス語で伝え理解する生活世界 A	2	SP1	1年次(2回生)	3
フランス語で読み解く社会と文化 B	2	SP1	1年次(2回生)	4
フランス語で伝え理解する生活世界 B	2	SP1	1年次(2回生)	4
フランス語で議論する社会事象 A	2	SP2	2年次(3回生)	5
フランス語で読み解く世界と経済 A	2	SP2	2年次(3回生)	5
フランス語で議論する社会事象 B	2	SP2	2年次(3回生)	6
フランス語で読み解く世界と経済 B	2	SP2	2年次(3回生)	6
異文化理解セミナー	2	—	単位認定	

◆ 科目概要

◇ フランス語で読み解く社会と文化 A

この科目が目指すのは、フランス語のテキストや映像等の多様なチャンネルを通じ、現代フランスの社会と文化を理解することです。この科目を通し、フランス語については、特に「聞く」「読む」という能力を開発します。また、専門分野については、フランス社会や文化を扱うニュースやネットのトピック、映画、テレビ番組を、一次情報から直接理解し、客観的あるいは相対的に捉える力を養成します。副専攻に登録したばかりの2回生に対し、中級フランス語とフランス地域研究への入門となる科目です。

◇ フランス語で伝え理解する生活世界 A

この科目が目指すのは、フランスの生活世界で、人・モノ・情報へと実際にどうやってアクセスするか、そしてそこで遭遇する問題にどうやって対峙するかを理解することです。この科目を通し、フランス語については、特に、「話す(やりとり・表現)」「書く」という能力を開発します。専門分野については、現代フランスの生活世界でのさまざまな場面を通じ、知識を疑似体験的に身につけることで、総合的なコミュニケーション能力を涵養します。「フランス語で読み解く社会と文化 A」とあわせ、副専攻に登録したばかりの2回生を、中級フランス語とフランス地域研究の入り口へと導く科目です。

◇ フランス語で読み解く社会と文化 B

この科目は、「フランス語で読み解く社会と文化 A」を受け、「A」より少々高度な内容を扱うフランス語の多様なチャンネル(テキスト、ラジオ、映像等)を通し、フランス語の能力をさらに高めながら、現代フランスの社会と文化をさらに深く理解することを目指します。「A」に引き続き、フランス語の「理解する(聞く・読む)」という能力にフォーカスを当て、それを伸長させると同時に、現代のフランス社会や文化への関心とそれに対する理解力も増強させるので、フランスの社会や文化の動向やその意味を正確に捉えること、また、それらを現代日本の社会や文化の問題の解決に応用することができるようになります。

◇ フランス語で伝え理解する生活世界 B

この科目は、「フランス語で伝え理解する生活世界 A」を受け、フランスの生活世界の様々な場面で遭遇する

少々困難な問題を、「話す(やりとり・表現)」「書く」という能力を用い、フランスで生きる人々と繋がり助け合いながら解決する方法を身につけることを目指します。この科目を通じ、生活者としてフランスに受容されるために、少々複雑なことや、まとまったことをフランス語で書いたり話したりといった「表現」がどれほど重要で意義を持つかが体感的に理解できるようになります。

◇ フランス語で議論する社会事象 A

この科目の目的は、「フランス語で伝え理解する生活世界 A・B」で開発した「話す(やりとり・表現)」「書く」という能力を、フランス社会の様々な事象に対して用いることで、社会事象と「表現」との関わりを、実践を交えて体感的に理解することにあります。この科目を通じ、現代フランス社会の多様な事象が、どのような「表現」により捉えられ生活世界に入ってくるか、また、どのような「表現」を用いることで、生活者が具体的な一つ一つの社会的事象と関わり、影響を及ぼし合うのかを理解できるようになります。また、学んだ「表現」を用いることで、他者と助け合いながら、困難な社会事象に対する対策を導き出すこともできるようになります。

◇ フランス語で読み解く世界と経済 A

この科目の目的は、学習の対象を「世界」や「経済」のような領域まで広げ、やや抽象的な内容のテキストや映像を扱うことで、「フランス語で伝え理解する生活世界 A・B」で開発した「理解する(聞く・読む)」という能力をさらに伸長させることです。このように、単にフランスだけに留まらず、他のフランス語圏やフランスと他の国とのさまざまな関係などに関心を払い、その内容を理解し、そこで扱われている問題について深い洞察をすることで、この科目を通じ、フランス語の高度な理解はもちろんのこと、コスモポリタンとしての自覚をもちながら他の国の人々と上手く協働する方法も身につけることができます。

◇ フランス語で議論する社会事象 B

この科目の目的は、「フランス語で議論する社会事象 A」で扱った内容を発展させ、フランスで生活する皆さんが複雑な社会事象にどのようにして遭遇するのか、また、それを解決するのに、「話す(やりとり・表現)」「書く」という能力をどのように有効に機能させるのかを、実践を通じて理解することにあります。この科目は実践的学習の総仕上げでもあります。この科目を通じ、皆さんは、フランスのさまざまな社会事象が、多様な場面で生活者の日常と繋がる可能性があること、また、そのとき、繊細な表現で社会事象を捉え、言葉を発するのがいかに重要であるかを実践的に学ぶことになります。そして、その実践を通して、さまざまな生き抜くための表現を身体的な知識として獲得できるようになります。

◇ フランス語で読み解く世界と経済 B

この科目は、「話す(やりとり・表現)」「書く」に関わるフランス語とフランス地域研究の総仕上げとなる科目です。「フランス語で読み解く世界と経済 A」までで扱った内容を総合し、惑星レベルで流通するさまざまなフランス関連のテキストや映像を深く理解し、自ら考察し、その考えを世界へと投げ返す可能性までを追求します。フランスに留まらず、世界中の関係や経済まで関心を広げ、そこで問題となっていることについて、深く理解し、真剣に考えること、さらにその考えを世界へと発信するのを意識することが到達点となります。この科目を通じ、フランス語の高度な理解のみならず、コスモポリタンとしての高い意識とリーダーシップ、及び異文化の人々と上手に協働する技術を身につけられるようになります。

【中国語コミュニケーションコース】 1年次定員 35名

◆ コースの位置づけ

中国語の生の文章を読むことや、実用的な会話、文章作成、リスニング、スピーチ練習などを通して、国際社会で活躍できる中国語能力を養成するとともに、中国語圏の社会、文化、経済などに対する理解を深めます。

また、チームで協力して学習をすることで、学生同士の交流を深めます。

具体的な到達目標としては、SP1 で中国語検定 3 級程度、SP2 では 2 級程度の中国語能力を目指します。

◆ 科目編成

科目名	単位数	パッケージ	配当年次(回生)	セメスター
中国語で読み解く社会と文化 A	2	SP1	1年次(2回生)	3
中国語で伝え理解する生活世界 A	2	SP1	1年次(2回生)	3
中国語で読み解く社会と文化 B	2	SP1	1年次(2回生)	4
中国語で伝え理解する生活世界 B	2	SP1	1年次(2回生)	4
中国語で議論する社会事象 A	2	SP2	2年次(3回生)	5
中国語で読み解く世界と経済 A	2	SP2	2年次(3回生)	5
中国語で議論する社会事象 B	2	SP2	2年次(3回生)	6
中国語で読み解く世界と経済 B	2	SP2	2年次(3回生)	6
異文化理解セミナー	2	—	単位認定	

◆ 科目概要

◇ 中国語で読み解く社会と文化 A

様々なジャンルの文章を読んだり、様々な音声のリスニング練習をしたりして、読解力やリスニング力を向上させ、また中国語圏の社会や文化への関心を高めます。授業を通じて、特にピンイン無しの文章を読めるようになるのが目標です。

◇ 中国語で伝え理解する生活世界 A

日常会話の練習をしたり、手紙やメールなど日常生活で使う文章を作成し発表したりして、実践的な会話や作文の力を身に付けます。

◇ 中国語で読み解く社会と文化 B

新聞などのやや高度な文章を読んだり、映画などの聴き取りをしたりして、中国語圏の社会や文化について、生の資料から情報を得る力を養います。授業を通じて、特に書面語の文章を読めるようになるのが目標です。

◇ 中国語で伝え理解する生活世界 B

「中国語で伝え理解する生活世界A」より高度な会話、作文、スピーチ練習をします。作文・スピーチ練習では、身近な出来事や日本の社会、文化などを紹介する文章を作成して、発表したりします。

◇ 中国語で議論する社会事象 A

中国語圏の社会や文化などについて調べ、その内容を中国語で書いたり、発表したりする練習をします。それを通じて、社会的な事柄について話したり、作文したりすることができるようになることを目指します。

◇ 中国語で読み解く世界と経済 A

中国語圏の社会、文化、経済などを扱った文章を読んだり、リスニング練習をしたりします。それらを通じて、中国語圏で起きている事柄について情報を得て、その意味を考えていきます。

◇ 中国語で議論する社会事象 B

「中国語で議論する社会事象A」より高度な会話、作文、スピーチ練習をします。期末には、中国語を使ってプレゼンなどをするパフォーマンス大会を行う予定です。

◇ 中国語で読み解く世界と経済 B

「中国語で読み解く世界と経済 A」より高度な文章読解やリスニング練習を行い、中国語圏の社会、文化、経済などに対する理解を更に深めます。

【スペイン語コミュニケーションコース】 1年次定員 35名

◆ コースの位置づけ

スペイン語圏(スペイン、中南米諸国)の歴史、文化や現代社会についての専門的知識を身につけるとともに、国際社会で活躍できる高度なスペイン語運用能力を獲得することを目標とします。具体的目標としては、スペイン文部科学省実施の DELE(Diploma de Español como Lengua Extranjera)の B1~2 合格、および日本スペイン協会実施のスペイン語検定3級 合格を目指します。上記目的達成のために、異文化理解セミナー参加を大いに奨励します。また、副専攻受講者より、半年または1年間の留学者が出ることを期待しています。

◆ 科目編成

科目名	単位数	パッケージ	配当年次(回生)	セメスター
スペイン語で読み解く社会と文化 A	2	SP1	1年次(2回生)	3
スペイン語で伝え理解する生活世界 A	2	SP1	1年次(2回生)	3
スペイン語で読み解く社会と文化 B	2	SP1	1年次(2回生)	4
スペイン語で伝え理解する生活世界 B	2	SP1	1年次(2回生)	4
スペイン語で議論する社会事象 A	2	SP2	2年次(3回生)	5
スペイン語で読み解く世界と経済 A	2	SP2	2年次(3回生)	5
スペイン語で議論する社会事象 B	2	SP2	2年次(3回生)	6
スペイン語で読み解く世界と経済 B	2	SP2	2年次(3回生)	6
異文化理解セミナー	2	—	単位認定	

◆ 科目概要

◇ スペイン語で読み解く社会と文化 A

本授業では、「スペイン語・基礎」「スペイン語・展開」で学んだことを活かして、スペイン語の読解力と聴解力の向上および文法力・語彙力の定着を目指します。教材にスペイン語圏の社会や文化に関するテキストや映像を使い、スペインや中南米の社会や文化を理解するための基礎的な力と日本の社会や文化を相対的に捉え、再認識する力も養います。

◇ スペイン語で伝え理解する生活世界 A

本授業では、「スペイン語・基礎」「スペイン語・展開」で学んだことを活かして、スペイン語の表現力向上を目指す会話と作文を中心としたものです。スペインで留学生向けに出版されている教科書を使い、スペイン語圏での生活世界を疑似体験しながら、会話の常用表現はもちろん、身近なものを題材とし、スペイン語での作文およびその添削を行うことによってスペイン語の正確な表現を身につけることを目的とします。

◇ スペイン語で読み解く社会と文化 B

本授業では、「スペイン語で読み解く社会と文化 A」を受けて、さらにスペイン語の読解力と聴解力の向上および文法力、語彙力の定着を目指します。教材にスペイン語圏の社会や文化に関するテキストや映像を使い、スペインや中南米の社会や文化を理解するための基礎的な力と日本の社会や文化を相対的に捉え、再認識する力も養います。

◇ スペイン語で伝え理解する生活世界 B

本授業では、「スペイン語で伝え理解する生活世界 A」を受けて、さらにスペイン語の表現力向上を目指す会話と作文を中心としたものです。スペインで留学生向けに出版されている教科書を使い、スペイン語圏での生活世界を疑似体験しながら、会話の常用表現はもちろん、身近なものを題材とし、スペイン語での作文およびその添削を行うことによってスペイン語の正確な表現を身につけることを目的とします。

◇ スペイン語で議論する社会事象 A

本授業では、「スペイン語で伝え理解する生活世界 A・B」で培った表現力をさらに向上させ、スペイン語で議論する力を身につけることを目的とします。与えられたテーマ、または自分で選んだテーマに関連する資料を集めて分析し、スペイン語で自分の意見を主張する練習を行います。発表後は、それについて皆でディスカッションを行い、日常的な会話とは違った、論理的に自分の意思を伝える表現について学びます。

◇ スペイン語で読み解く世界と経済 A

本授業では、スペイン語で書かれた雑誌、新聞、スペイン語で発信されたニュース等を教材として使い、「スペイン語で読み解く社会と文化 A・B」で培った理解力をさらに向上させます。また、スペイン語圏に留まらず世界が直面する課題を取り上げた文章や映像を読み解き、スペイン語の読解力と聴解力の向上を図ると同時に、世界情勢や経済へ関心を払い理解を深めます。

◇ スペイン語で議論する社会事象 B

本授業では、「スペイン語で議論する社会事象 A」を受けて、さらに表現力を向上させ、スペイン語で議論する力を鍛え身につけることを目的とします。与えられたテーマ、または自分で選んだテーマに関連する資料を集めて分析し、スペイン語で自分の意見を主張する練習を行います。発表後は、それについて皆でディスカッションを行い、日常的な会話とは違った、論理的に自分の意思を伝える表現について学びます。

◇ スペイン語で読み解く世界と経済 B

本授業では、スペイン語で書かれた雑誌、新聞、スペイン語で発信されたニュース等を教材として使い、「スペイン語で読み解く世界と経済 A」で培った理解力をさらに向上させます。また、スペイン語圏に留まらず世界が直面する課題を取り上げた文章や映像を読み解き、スペイン語の読解力と聴解力の更なる向上を図ると同時に、世界情勢や経済へ関心を払いより一層理解を深めます。

【朝鮮語コミュニケーションコース】 1年次定員 35名

◆ コースの位置づけ

1 回生基礎・展開の授業内容は初級レベルで、英語で言えば日本の中学 3 年生平均水準です。より実践的で「使える」言葉、たとえば韓国人留学生と会話を楽しんだり、朝鮮語新聞や雑誌の専門的な情報にアクセスしてレポート作成に役立てるなど、中級から中上級レベルの「話す・聞く・読む・書く」力を着実に養成します。

◆ 科目編成

科目名	単位数	パッケージ	配当年次(回生)	セメスター
朝鮮語で読み解く社会と文化 A	2	SP1	1年次(2回生)	3
朝鮮語で伝え理解する生活世界 A	2	SP1	1年次(2回生)	3
朝鮮語で読み解く社会と文化 B	2	SP1	1年次(2回生)	4
朝鮮語で伝え理解する生活世界 B	2	SP1	1年次(2回生)	4
朝鮮語で議論する社会事象 A	2	SP2	2年次(3回生)	5
朝鮮語で読み解く世界と経済 A	2	SP2	2年次(3回生)	5
朝鮮語で議論する社会事象 B	2	SP2	2年次(3回生)	6
朝鮮語で読み解く世界と経済 B	2	SP2	2年次(3回生)	6
異文化理解セミナー	2	—	単位認定	

◆ 科目概要

◇ 朝鮮語で読み解く社会と文化 A

やさしい朝鮮語の読み物や韓国ドラマの場面、K-POP の歌詞映像など映像をふくめた多様なコンテンツを使ってことばの学習を進めながら、朝鮮半島の社会と文化も学ぶ初中級レベルの科目。1 回生時の「朝鮮語基礎・展開」で身につけた能力のうち、特に「聞く・読む」能力の向上に重点を置きます。コリアン社会を成り立たせている文化的なものの見方や情緒を読み解くことで、朝鮮半島に生きる人々への親近感とより深い理解力を養うことを目指します。

◇ 朝鮮語で伝え理解する生活世界 A

韓国・朝鮮での日常にフォーカスしたテキストを使いながら、さまざまな生活の場面に対応できる朝鮮語力と、国境や民族の壁を超えてさまざまな人々とコミュニケーションし共感できるしなやかな感性を養う初中級レベルのクラス。1 回生時の「朝鮮語基礎・展開」で身につけた「話す・書く」能力の向上に力点を置き、異文化社会に向けた発信力と受信力の両方を鍛えていきます。

◇ 朝鮮語で読み解く社会と文化 B

「朝鮮語で読み解く社会と文化 A」に引き続き、多様なコンテンツを使いながら朝鮮語のリスニングとリーディングの力を向上させる学習を進める授業。同時に、朝鮮語の新聞・雑誌記事の読解やテレビニュースのリスニングを通じて、日本との歴史的関係など日本の報道だけでは見えにくい朝鮮半島の社会の成り立ちを興味深く探っていくことができます。

◇ 朝鮮語で伝え理解する生活世界 B

「朝鮮語で伝え理解する生活世界 A」に引き続き、あらゆる日常生活の事象に的確に適應できる朝鮮語のコミュニケーション力、特にスピーキングとライティングを強化するクラス。日本とは似ているようで異なる点の多いコリアン社会の慣習や人間関係を前提としたコミュニケーション力の訓練を通じて、異文化社会と文化をさらに深く細部まで理解できるようになることを目指します。

◇ 朝鮮語で議論する社会事象 A

「朝鮮語で伝え理解する生活世界 A・B」で養った朝鮮語のライティング・スピーキングによる発信力を土台に、朝鮮半島をめぐるさまざまな社会問題を取り上げながら、日本人の弱点ともいえるべき「議論する力」の養成を目指す中上級クラス。学生の選択したテーマに関する意見を個人・グループで朝鮮語文章にまとめ、スピーチや質疑応答を行うなど朝鮮語を使った思考に挑戦します。

◇ 朝鮮語で読み解く世界と経済 A

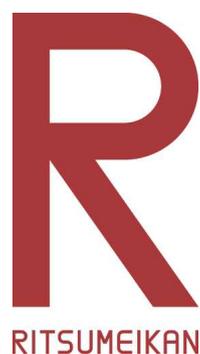
「朝鮮語で読み解く社会と文化 A・B」で養った朝鮮語のリスニング・リーディング。朝鮮半島をめぐる国際問題や経済情勢を中心に時事的な話題について、韓国・朝鮮のテレビニュースや朝鮮語の新聞・雑誌記事ほかを題材に、自ら調べ、まとめ、朝鮮語で発表しディスカッションできる能力を目指します。発展するアジア経済、東アジアの国際情勢など、経済学に密接に関連する情報を原語で理解できるようになります。

◇ 朝鮮語で議論する社会事象 B

「朝鮮語で議論する社会事象 A」に引き続き、日本と朝鮮半島の文化的流行や歴史に対する異なった視点など、身近な問題から社会情勢にいたるまでの様々な話題を題材に抽象的レベルまでの発信力をきたえるクラス。問題を把握して各自の意見を簡単な朝鮮語レポートにまとめ、個人・グループによるプレゼンテーションで発信できるなど、職場でも使える上級レベルの内容を視野に入れます。

◇ 朝鮮語で読み解く世界と経済 B

「朝鮮語で読み解く世界と経済 A」に引き続き、朝鮮語を通じて朝鮮半島や東アジア全般の経済やビジネス、政治に関するやや専門性のある内容を理解することをめざすクラス。朝鮮語の経済記事や論文にも挑戦し、学部専門科目のレポートや卒業論文作成に役に立つコンテンツを正確に読み取り活用できるようになることを目指します。



【BKC外国語副専攻に関する窓口】

立命館大学 言語教育センター(BKC)

@アクロスウイング 1階

月～金 10:00～17:00

(※土・日及び祝日(土・祝日に行われる授業日・補講日含)は終日閉室です。)

TEL (077) 561-3358

E-mail : gengobkc@st.ritsumeai.ac.jp